

大池（おおいけ）

位置図



諸元

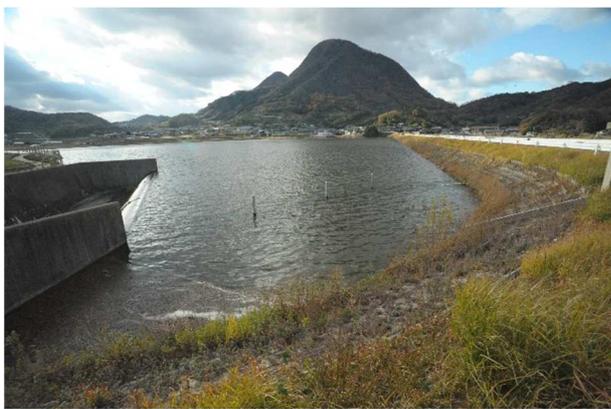
貯水量	250 千m ³
満水面積	9.8 ha
受益面積	50.0 ha
堤高	11.9 m
堤長	460.0 m

大池は善通寺市にある国指定史跡の王墓山古墳公園の南西に位置しています。築造時の資料が残っていないため、築かれた年代は定かではありませんが、約 700 年前の「讃岐国善通寺近傍絵図」という昔の地図に大池が描かれていることから、その頃にはすでに完成していたと考えられます。

記録によると江戸時代には大池のかんがい面積は 113 ヘクタールありましたが、明治に入って、かんがいていた農地が旧陸軍第 11 師団の訓練用地として買い取られたことから、50 ヘクタールと半減してしまいました。

昭和に入り、太平洋戦争時に大池は旧陸軍の爆破訓練の場として使われたため、池の中ほどに流れ込んで出来た二つの土砂の山は姿を消し、波と大地を揺るがす振動によって堤防自体も大きく傷んだといえます。

戦後、傷んだため池の補強工事が水利組合の手により行われたものの、昭和 52 年（1977 年）ごろから日量 4000 トンにも達する漏水が始まったため、昭和 54～59 年（1979～1984 年）にかけ、抜本的な改修工事が行われ、併せて雨の少ない大麻山麓の傾斜地農業のかんがいのために香川用水を主水源とする配水施設が新設されました。



我拝師山を望む大池



堤体に立つ改修記念碑